

『水神様と恋に溺るる』の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『水神様と恋に溺るる』の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『水神様と恋に溺るる』を読んだことのある20代～50代の男女17名
調査期間	2026年10月10日～2026年10月15日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/suizinsamatokoinioboruru/

■アンケート項目

- Q1: 年代と性別を教えてください。
- Q2: 『水神様と恋に溺るる』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	1人
30代男性	0人
30代女性	5人
40代男性	0人
40代女性	4人
50代男性	0人
50代女性	7人

Q2: 『水神様と恋に溺るる』の感想を教えてください。

『水神様と恋に溺るる』1巻	ひなたが耐えられなくなった気持ちが痛い程わかりました。香澄には一誠という大好きな幼馴染がいただけに、許せなかったんでしょうね。しかも、香澄と同じ年ごろの少女は普通に恋愛を楽しめているというのに。こういった香澄と他の少女たちとの差も、ひなたの不満を強くさせてしまった
---------------	--

	んだと思います。
『水神様と恋に溺るる』1巻	姉は生まれたときからその地に棲む神様に嫁ぐことが決まっていた、それは村にとって必要なこととはいえ、本来なら好きな幼なじみと一緒にになりたいであろう姉のことを思って、彼女が眠っている間に自ら身代わりとなって嫁ごうとするひなたの優しさにドキッとしました。あまり深く考えずに行動に移してしまうことを心配していた姉をよそに、神様のもとに向かったものの、勝手に入り込んできた人間と勘違いした神様に、死を宣告されるという想定外のドキドキ感も良かったです。
『水神様と恋に溺るる』1巻	作品の大正時代の雰囲気が素敵です。2人姉妹のお互いを想う優しい気持ちから物語が動いていき、姉を想う気持ちから自分が犠牲になろうとする主人公のひなたをる見ていると少し切なくなる。ひなたが川に落ちたところを助けてくれたシーンがきっと2人の初めての出会いで印象的でした。これからどんな展開になるのかワクワクします。
『水神様と恋に溺るる』2巻	ひなたは厳しい課題を突きつけられることになりました。翠神様を退屈させなければいいわけですが、それは簡単なことではありません。そもそも、人間と神様とでは何を面白く感じるかにも差はあるでしょうし。この難題をどのようにして乗り越えるのが気になります。
『水神様と恋に溺るる』2巻	妹の立場からしたら、最初から生贄にされると決まった人生なんて悲しいし、それでもお姉ちゃんは文句も言わずに我慢して生きてきたわけで、それをくだらないで片付けられるのは腹が立ちますよね。それに今までさんざん奉られてきたのに、ちょっとしたことでヘソを曲げた神様に対して、「あなたみたいな人」って皮肉を言うのは、結構スカッとなりました。そのはっきり言う姿勢が気に入られたなら、今後も大丈夫そう。
『水神様と恋に溺るる』3巻	翠神様がひなたを救ったことに驚きました。確かに翠神様は、翠神村を始めとした周辺のことを手に取るようにわかる神様なのでしょう。しかし、周辺のことを把握できることと、ひなたを助けることは別です。かなり怖い神様のように思えましたが、実際は心優しい神様なのかもしれませんね。
『水神様と恋に溺るる』3巻	ひなたが一生懸命に翠神様と向き合おうとしている姿を見て、頑張っしてほしい！と思いながら読んでいました。自分の気持ちだけでも精一杯なのに、村のために神様の機嫌まで取らなきゃいけないなんて大変すぎる…。でも、そんな状況でもリスさんを助けようとするひなたの優しさが本当に好きです！木から落ちたひなたを翠神様が助ける場面はドキッとしました。普段は冷たいのに、いざというときに助けてくれるのはずるい！と思ってしまいます(笑)。翠神様はひなたのことをどう思っているんだろう？これから二人の関係がどう変わっていくのか、恋が始まる予感にワクワクします！
『水神様と恋に溺るる』3巻	今回も背景がとてもきれいに描かれていました。幽玄的な雰囲気がよく出ていて、世界観に入りやすいです。キツネが人間になって案内してくれるあたりも、主人公がひとりで闇雲に走って行くのと違い、臨場感がありました。「神様」である翠神様への畏れや、その優しさと、それを理解する主人公の温かな心が描かれている回で、二人の距離が縮まったと思いました。
『水神様と恋に溺るる』4巻	翠神様がひなたを看病するシーンが微笑ましく過ぎました。ひなたにはあれだけ厳しい態度を取っていたのに、为什么呢かこの心配の仕方は。あまりにも優し過ぎます。出会った頃とのギャップも相まって、思わずほっこりしてしまいました。
『水神様と恋に溺るる』4巻	神域で過ごし始めたひなたですが、体調不良に陥ってしまいます。翠神様は、自身の知識不足を自覚しながらもひなたを介抱するところがめっちゃくちゃエモい。あと、名前を持たない神様に名前を付けてあげるといのが何といってもこの回の名場面すぎます。これできっと距離も縮まるしどうなるのか今後の展開がめっちゃくちゃ期待したいですね。
『水神様と恋に溺るる』5巻	翠神様がどこまでひなたを求めるのか気になりました。ひなたはその身を捧げると口にはしているわけですから、最後まで求められれば応じるしかありません。とはいえ、二人はまだそれほど深い関係にはなっていませんし、そこまで求めるようにも思えないんですよね。翠神様がひなたをどうするのか、非常に気になります。
『水神様と恋に溺るる』5巻	この回では二人の距離がめっちゃくちゃ縮まる急展開にキュンキュンさせられてしまいます。恥ずかしさに悶絶しながらもひなたが健気にお誘いとかしちゃうんですもん。いやもうどうなっていくのか釘付けになってしまいます。二人の初めての特別な夜こんなものを見てしまっているのかってくら

	いに盛り上がるんでぜひその辺を楽しんでほしいです。キュン死にします。
『水神様と恋に溺るる』6巻	結局最後までしなかったとはいえ、二人の関係はかなり進展したように感じました。何しろ、ひなたの頭の中は翠神様のことで一杯になってしまったわけですから。翠神様を想うひなたの姿は恋する乙女そのものでしたし、タイミング次第では最後までいってしまうかもしれませんね。
『水神様と恋に溺るる』6巻	前話のキュンキュン話の余韻に浸りながらも、今作もいい感じでこのままでハッピーエンドでいいじゃんって思っちゃったんですが、やっぱりそう簡単にいかないですよ。ひなたは姉の身代わりであるという罪悪感から次第に苦しんでいっちゃうんですよ。もうそんなこと考えずにハッピーエンドでいいのに。二人の平穏は一瞬で崩れ去ろうとしているのがもうなんとも切ないけど、やっぱり続きが気になる。
『水神様と恋に溺るる』7巻	香澄がどうするのか気になります。ひなたは翠神様を気に入ったことを話すでしょうが、果たして香澄はそれを素直に信じるでしょうか。きっと自分を追い返すために、ひなたは無理して言うだけだと受け取るように思います。ひなたが何を言っても逆効果。そんな展開になりそうで、少し不安になりました。
『水神様と恋に溺るる』7巻	やっぱりすれ違いが始まっちゃうんですよ、こういう展開はみたくないけど、もうやっぱり少女漫画らしい展開で見ずにはいられなくなります。偽りの花嫁ということがばれてしまってやっぱり神様もお怒りムード。いや、もうそんな難しいこと気になさらず、キュンキュン的な展開を見せてほしい。起承転結がきれいに描かれていておもしろい。
『水神様と恋に溺るる』7巻	歴史ファンタジーが好きで何となく目に入って読み始めました。主人公のひなたがとても優しくて、姉の身代わりになることが切なかった。姉もとても優しくいい人なので、なおさらそう思いました。蒼は最初冷たくてひなたに対しても怒りをぶつけていたけど、実はひなたのことを出会う前にも守っていたり優しさが垣間見えて、2人が結ばれて幸せになってほしい。ひなたの独占欲が見えたり可愛らしくて、でもひなたと蒼は寿命が違うから結ばれたとしても切ない結果になるのかなど、これからどうなるのか展開が楽しみです。

漫画全巻の部屋

by (株)グリュックス